

令和元年度第1回「墨田区次世代育成支援行動計画推進協議会」 及び「墨田区子ども・子育て会議」議事要旨

日時：令和元年5月31日（金）午後6時30分～午後8時30分
会場：墨田区役所 131会議室

次 第

1 開会

2 報告事項

議 題	資料No.
量の見込みと確保の内容（実績）について	資料1

3 議題

議 題	資料No.
基本理念・基本目標	資料2

4 その他

5 次回開催予定

6 閉会

配布資料

資料1	量の見込みと確保の内容（実績）について
資料2-1	基本理念・基本目標について
資料2-2	基本理念・基本目標 検討資料
参考	令和元年度（2019年度）スケジュール（案）

出席者（敬称略）

○委員

高嶋 景子（聖心女子大学文学部教育学科准教授）
野原 健治（社会福祉法人興望館常務理事）
松山 洋平（和泉短期大学准教授）
西村 孝幸（小梅保育園長）
西島 由美（にしじま小児科院長）
服部 榮（社会福祉法人雲柱社理事長）

小林 恵子（両国子育てひろば施設長）
押田 剛（主任児童委員）
白土 大輔（言問小学校PTA会長）
小菅 崇行（東京商工会議所墨田支部副会長）
佐藤 まり子（ムーミン保育室代表）
賀川 祐二（NPO法人 病児保育を作る会代表理事）
宮村 柚衣（ちゃのま保育園代表）
田中 千春（区民公募委員）
横井 貴広（区民公募委員）
河原 宏子（緑幼稚園長）
中村 奈緒美（第三寺島小学校長）
星加 町子（江東橋保育園長）

<欠席委員>

岡田 真（江東学園幼稚園園長）
小川 政美（吾嬭立花中学校PTA会長）
鈴木 真由美（青少年委員協議会委員）
甚野 永子（墨中地区青少年育成委員会委員長）
中村 信幸（連合墨田地区協議会議長）
本多 美絵子（両国幼稚園副園長）
佐藤 達也（区民公募委員）
関 舞衣子（区民公募委員）
渋谷 俊昌（両国中学校長）

<傍聴>

3名

○事務局出席者(検討チーム含む)

岩佐 一郎（子ども・子育て支援部長）、田村 俊彦（子育て支援課長）、高橋 義之（子育て政策課長）、金子 明（子ども施設課長）、梅原 和恵（子育て支援総合センター館長）

開会

2 報告事項

量の見込みと確保の内容(実績)について

会長	報告事項「量の見込みと確保の内容(実績)について」、事務局から説明をお願いします。
事務局	(資料1に基づいて報告)
副会長	待機児童対応はこれまで力を入れてきたと思いますが、今後も見越して最大のところまで対応できるという見通しが持てたということでしょうか。
事務局	保育施設の定員はある程度増えてきており、現状のニーズにはおおむね対応できる状況になってきています。ただ、これまでもニーズは伸び続けており、決して安心はできないと考えています。今後の対応については、本年度実施する人口推計の結果も踏まえて、策定する次期事業計画の中に盛り込んでいく予定です。
会長	他に御質問がなければ、本日は議題の議論に時間をかけたいと思いますので、報告事項はこれまでとさせていただきます。

3 議題

基本理念・基本目標について

会長	「基本理念・基本目標について」事務局から説明をお願いいたします。
事務局	(資料2-1、2-2に基づいて説明)
会長	ありがとうございました。前回3月の会議における委員の意見を反映して作っていただいたということで、この資料を基に議論を進めていきたいと思います。ぜひ、それぞれのお立場、専門の分野から意見をいただきたいと思います。
委員	基本目標②について2点質問があります。1点目は、質を高めることに特化したとのことですが、施設整備によって量は確保され、量的整備はクリアしたと考えているという認識で良いのでしょうか。保育士の確保も量的整備として考えるべきではないでしょうか。2点目としては、質の向上については保育現場の環境整備が必要だと考えており、そうした支援をどのように考えているのかをお伺いしたいと思います。子どもたちの昼食の時間も休憩時間に含まれるとか、パワハラがひどいなどの現場の話も聞くことがあり、そうした労働環境の改善も必要だと考えます。
事務局	量の確保については、クリアしたという認識ではなく、今後もまだまだ力を入れていく必要があると考えています。先ほどの報告事項でもお示した通り、本年度も待機児童は生じており、これをゼロにしていくのが行政の使命だと考えています。その上で、今後5年間という期間の計画を策定するに当たり、改めて量の確保を載せることも重要だと思いますが、より保育の質に力点を置いていきたいということを考えているところです。現場の環境の支援・整備については、質の確保のためにも保育士が働きやすい環境を維持・整備することが必要だと思います。そういう意味では園の環境整備には力を入れていきたいし、あらゆる方策を尽くして保育士の確保にも努めていきたいと考えています。
委員	現場の立場から発言させていただきますが、各施設とも人材の確保に苦勞し、努力していることは間違いのないところです。また、その際に有形無形の形で区から支援をいただいているというところもあります。保育の質を向上させていくためには、人材の確保は必須であり、

	この内容はしっかり計画に盛り込んでほしいと考えます。
会長	人材の確保や環境整備・支援は基本目標②の(1)に入ってくるイメージで良いでしょうか。そうであれば、その内容が抜け落ちないように認識を確認しておきたいと思いますが、そもそも事務局案の表現を変えるべきかという点ではどうでしょうか。
委員	全体を通してですが、「さまざまな」という言葉など漠然としていて、何を指しているのかがよく分かりません。「環境の整備」という言葉が多く使われているが、施設というハコだけでなく、職員の環境というものも考えてほしいです。新人はそれなりの時間をかけなければ一人前になりません。また、育った中堅の職員が育児のために退職して、育児が一区切りついたところで職場に復帰できないということにも問題があると思います。これにはワーク・ライフ・バランスにおける問題もあるのではないのでしょうか。もうちょっと整理して、個別に目標をつけていった方がいいのではないのでしょうか。全部まとめてひとつにしてしまうのはいかがかと思います。基本理念では「支えあい」という言葉が使われていますが、自発的に出てくることは良いと思いますが、区が押し出してくるのはどうでしょうか。最後に、将来像の子育て家庭のところだが、「親自身が」との記載になっているところ、「親自身も」が適切だと思います。
事務局	表現が抽象的、漠然としているというご指摘をいただいた点については、委員みなさんの意見をいただきながら修正していきたいと思いますが、ただ、一つ認識を共有いただきたいのは、現在基本目標、具体的方向性を議論いただいているが、この下に個別の各事業がぶらさがり、重点事業として具体的な取組が示される形になっていくことは御理解いただければと思います。
委員	基本目標①の「子どもの最善の利益」という言葉は基本理念にある方がしっくりくるのではないのでしょうか。
事務局	現計画においては、基本理念で「子どもの利益」という言葉を使い、基本目標①に「子どもの最善の利益を優先します」と位置付けているところです。理念と目標で同じような言葉が重複しない方がいいという考え方や、一方で「子どもの最善の利益」は外せないという考え方もあると思います。他の委員のみなさんからも意見をお伺いしたいところです。
会長	表現については「方向性」として大きく括らなければならないこともあるだろうし、絞っていくことが良いこともあると思いますので、委員みなさんの御意見をいただければと思います。基本目標③(3)で「さまざまなサポート」というものにはいろいろあると思うが、こうしたものがあるといいなどの意見をいただけないでしょうか。
委員	パッと見の率直なところ、現計画の方が言葉は分かりやすい気がしています。基本目標①から順に考えていくと、先ほどの委員の発言にあった「子どもの最善の利益」という言葉を基本理念に持っていった方が良い、というのは自分も同感です。基本目標②については、質を高めるという言葉がはっきりしていて、とても分かりやすいと思います。基本目標③については前回と同じですが、現計画の(3)と(4)だけでは網羅できない困難を抱えている人が生じてきている中、「さまざまなサポート」という言葉にするのは方法としてはありだと感じました。基本目標④についてはなんだか曖昧に感じていて、多様性を受け入れるということと、支えあえるという言葉がどうもピンときません。言葉をシンプルにできないかと思いました。基本目標⑤については、基本目標①と似ていて、整理しなおした方が良いと思います。在宅子育て家庭については、他に入れ場所がなくて①(2)にいる気がするが、⑤と

	か、②に入れた方がすっきりする気がしました。
委員	現在の会議体の前、次世代育成推進協議会として議論してきたとき、今の3倍くらい議論をして、言葉を選び、現在の言葉になってきたという記憶があります。その上で、この5年間、現計画の体系の中で議論してきたが、待機児童などの問題対応でやむを得ないとはいえ、基本目標①～③までばかりが論じられてきて、④、⑤はほとんど議論をしていないのではないのでしょうか。今後、パブリックコメントもやって、計画を策定していくのであれば、しっかり時間をかけてすべての目標を議論したい。会長、主幹事みなさんをお願いをしたいのですが、参考で添付されているスケジュール案を見ると、本当に時間がないと感じます。このままでは、言葉のやり取りをただで計画書が出来上がっていくような形になってしまい、それはとても物悲しいことだと思います。全体を議論できるように、時間割をしたうえで議論を進めていってほしいと思うのです。区の審議会であるため、事務局がたたき台を作るのは当然のことと思うが、議論の進め方について、主幹事みなさんで考えてほしいです。
会長	確かに、すべての目標をしっかりひとつひとつ議論していきたいと考えているところですが、一方で、計画策定までの期間を考えた時に、WGや専門部会を多数開催するのか、親会議であるこの会議の回数を増やすのかどちらが良いかという点もあります。事務局の考え方はどうでしょうか。
事務局	現在、親会議は年間6回でスケジュールリングさせていただいているところで、その合間に臨時的に親会議を開くこともやぶさかではありませんが、WGや専門部会で個別具体的に議論をしていくことが効果的・効率的だと考えます。その上で、親会議は意見を集約する場としていくのが良いのではないのでしょうか。 先ほどの委員の御意見に戻りますが、カテゴリー変更に関して意見をいただきました。場合によっては事務局案を丸ごと変更することもあると考えております。ただ、現計画の基本理念・基本目標を土台にするということについては大事にさせていただきたいと思います。
委員	今年度は8月に委員の改選があり、大きくメンバーが変更になる可能性があります。8月からスタートする方がしっかりと理解して計画策定の議論に参加できるのかということに不安もあります。これまでに議論されたことをやり直すことになったり、それぞれの方の専門の分野からしか意見が出なかつたりという恐れもあるので、主幹事、事務局で工夫をしてほしいと思います。
事務局	過去には、委員改選の際に新しい公募委員の方向けにオリエンテーリングを実施したことがあります。今年度、新たに委員になられる方については、公募委員に限定せずオリエンテーリングを実施する方向で考えたいと思っています。
会長	スケジュールにおいて、今回は重点項目の検討となっておりますが、現状どんなことをやっていて、どんな状況になっているのかということについて一から議論していくのはなかなか難しいと思います。今回、大枠の基本目標が定まりましたら、次回親会議までに、基本目標ごとに、重点取組についてWGを開催することは可能でしょうか。
事務局	限られた時間の中にあっても、丁寧に計画を策定していくためにも、ぜひWGを開催して基本目標ごとの重点取組を議論いただく機会を設けたいと思います。
委員	会議の運営・進行の話は別途企画会等で議論いただければと思います。自分も、過去の経緯等をよく知らない中での話になりますが、現計画の基本理念・基本目標の方が分かりやすいと感じます。曖昧な言葉にならざるを得ない部分があるのは分かりますが、あまりにも対象

	<p>が広がっていて、意見を言いにくいです。現計画では「子ども」に集中していたところ、「子どもと親が」と対象が広がっている部分が多く、自分としては「子ども」に集中した方がいいと思います。また、基本目標⑤(3)で「子育てを楽しめる」との文言があるが、この言葉に違和感があります。現計画の「子育てにやさしい」の方がしっくりくるし、より具体的にするのであれば「子育てにみんなが関わるまち」の方が良いと思います。</p>
委員	<p>自分も現計画の文言の方が分かりやすいと感じます。「教育・保育の質を高める」という明確な言葉を出していただけたのは良いと思いますが、全体的に文言が漠然としているように感じます。安定的な人の確保や働きやすい環境という話が出てきていますが、質を高めるには人材育成・研修をどう考えていくのかが大事ではないでしょうか。組織の規模や児童の数など小規模だったり大規模だったりある中で、どのようにしていくのがいいのかを考えなければならないと思います。また、「子どもの最善の利益」については、基本目標の大きな柱として掲げるべきだと自分は考えます。</p>
委員	<p>自分も現場で働いている立場として意見を言わせていただきます。最近、大切な小さな命が奪われてしまう事件・事故が多く報道されていますが、自分自身がその現場に居合わせたとき、子どもを守れるだろうかということを不安に感じています。子どもの命は一番大切にすべきことだと思いますが、その方向性を示していくことを考えたとき、自分は現計画の「子どもの安全・安心を守るための環境の整備」の方がしっくりくると思います。</p>
会長	<p>次期計画の案として示されているのは、あくまで事務局がたたき台として出していただいているものになりますので、具体案をいただければよいかと思います。いかがでしょうか。</p>
委員	<p>前回、子どもの最善の利益は当然のベースとして持ったうえで、親が元気に子育てしていることが大事ではないかと意見を出させていただきました。最近、不安を抱えながら子育てをしている親がすごく多いと感じています。そういう意見を含みおきいただいて、事務局はたたき台を作っていただけたのかなと思います。不安を抱えた親をどのように支援していくのかについて、基本理念・基本目標としてどのようにとらえていくのか、具体的な取組の部分で組み込んでいくのかを考えても良いのではないのでしょうか。現計画の方が分かりやすいという意見がありますが、そうした観点もあるのではないのでしょうか。</p>
委員	<p>自分は今回の会議が初参加になりますが、現在の計画というのはいつ策定されたものになるのでしょうか。</p>
事務局	<p>平成27年3月に策定されたものになります。</p>
副会長	<p>会議の運営の持ち方については、いろいろな意見があると思うので、みんなでひとつひとつ作っていくべきものだと思います。今回は本年度第1回の会議ですので、あえて運営の話を見せていただきたい。先ほど事務局から話がありましたが、委員改選に伴うオリエンテーションはやるべきだと思います。また、会議で意見を言いやすいこと、みんなでその人の意見を活かしていくことを大事にしたい。この会議体でも長くいる人と新しい人が混在しているし、分科会においてもメンバーによってさまざまです。一人ひとりの発言を重んじあい、マナーを持ちつつ、生産的に進めていきたい。今日、委員からいただいた意見については、会長、事務局と協議をして、企画会の持ち方なども考えていきたいと思います。</p> <p>基本目標については、文言の落とし方、表現が抽象的になっていることについて、重点目標とセットにして出すことが大事だと思います。伝えきれていないところなどについて、個別に委員とやりとりすることで、大分整理されていくのではないのでしょうか。</p>

会長	貴重な意見ありがとうございます。運営に関しては、副会長、事務局と改めてまた話をさせていただければと思います。基本理念・基本目標については、しっかりみなさんから意見をいただきたいと考えます。基本目標の枠組みの部分は本日共通認識を得ることで、次回、各目標につながる重点目標の議論をしていけるようにしたいと思います。基本目標の数は5つと決まっているのでしょうか。
事務局	数が5つというのは、特に決まっているわけではありません。
会長	先ほど、委員から「子どもの最善の利益」は基本目標の柱として置くべきという意見もありました。みなさんの意見はどうでしょうか。
委員	事務局案については、たたき台であって、これありきではないということ、事務局案を変えても良いとか、この議論が単なる追認の議事ではないということを繰り返し言っているの、それを踏まえて意見を出し合うのが本日の大事なところだと思います。確かに、具体的な表現というところでは現計画の方が良いとは思いました。一方、いろんな意見を入れていく中で表現があいまいになっていった部分もあると思います。そういう部分で議論をしてもいいのではないのでしょうか。 例えば、個人的に感じたことですが、「親」という言葉を行政計画で記載されることに違和感があります。「保護者」の方が一般的かと思います。また、将来像の「子ども」の部分では、協同性に軸足が置かれた表現になっていますが、主体的についての表記がなくてもいいのかという意見もあると思います。 ともすれば、行政計画は総花になってしまいますので、墨田区に住む保護者になるほどと感じられるものにしていきたいと考えます。そのために議論をしていくようにしたいと思いますが、いかがでしょうか。
会長	今いただいたように、基本目標だけでなく、基本理念・将来像に関しても意見があると思いますので、違和感がある部分、もっと強調した方が良い部分等ご意見がありましたら、いただけますでしょうか。
委員	「子どもの最善の利益」を基本理念に移すというのは良いと思ったので、「子どもと親と地域が共に育つ」というのを基本目標に移す形で入れ替えるのはいかがでしょうか。先ほどの委員の意見に合った「親」を「保護者」に変えるのも、多様性が広がる今、あって良いのではないかと感じました。 基本目標については、現計画の分類の方が分かりやすいというのは自分も思いますので、現計画を最大限生かしつつ、事務局案を盛り込んでみるのはいかがでしょうか。順番に言いますと、基本目標①は先ほど話した通り「子どもと親と地域が共に育つ」という言葉、基本目標②は「量的整備を継続しつつ」という言葉にする、基本目標③は「家庭」を「親」に変える、基本目標④は「連携」を「支えあい」に変える、基本目標⑤はそのままとするということでどうでしょうか。 また、先ほど「子育てにやさしい」の方がじっくりくるという意見がありましたが、何をもって「子育てにやさしい」というのが分からないので、自分としては「子育てにやさしい」の方が、違和感があります。表現は漠然としているかもしれないが、「子育てを楽しめる」の方が分かりやすいと思うし、じっくりきます。
会長	「子どもの最善の利益」は基本理念にあげるべきとの意見が多いように思います。基本理念と基本目標①の言葉を入れ替えるという案をいただきましたので、これを考えてみてはいか

	がでしょうか。
副会長	多くの意見がある中で、福祉の常識・教育の常識・医者常識・企業常識・行政常識はすべて違います。これを重ね合わせていく必要があると思います。
会長	具体的な文言としての整理は、事務局で預かって鋭意整理していただく必要があるかと思います。まず、今日は基本目標ごとにどのような内容を落とし込んでいくのかという枠組みは合意形成する必要があると考えます。基本目標①は「子どもと親と地域が共に育つ」ということにして、基本目標⑤はワーク・ライフ・バランスという視点からの整理にしてはどうかという意見がありましたが、おおよその方向性としてはこれでよろしいでしょうか。
副会長	ワーク・ライフ・バランスというのは、過去の議論の中で、しっかり柱として置いて、子どもありきにしていくのだという議論がありました。働き方を変えよう、例えば、親を帰らせてあげようというキャンペーンをするだとか、そういうことも背景にないといけなと考えています。ワーク・ライフ・バランスは内容が少なくてもいいが、目標として置くべきだと思います。また、「子どもの最善の利益」は我々の間では当たり前のように話されているが、一般の方々までは広がってきていないと感じます。子どもの権利を尊重するというを基本に考えていきたいです。
会長	基本目標として掲げたものは、どう実現していくかが課題になると思います。委員の方から具体的な意見をいただきながら、実現に向けて動いていくことが大事になると思います。それでは、先ほどの委員の意見にあったように、基本理念と基本目標①を入れ替え、②～⑤の言葉について、現計画を活かしながら少しずつ整理していくという枠組みで良いでしょうか。
委員	「子どもと親と地域」という言葉があるとき、「地域」というのは地域の人々という意味でよいでしょうか。
事務局	そのように考えていただいて良いと思います。
会長	個人だけでなく、団体、法人も含まれているという理解で良いと思います。 では、先ほど申し上げた通りの方向性で、事務局に再整理をしていただければと思います。今後の進め方については、今この場で決めるのは難しいですので、改めて企画会を開き、調整したいと思います。 各基本目標の内容については、別途WGなどでみなさんから意見をいただいて、第二回の会議につなげていきたいと思います。 それでは、本件についてはここまでとさせていただきます。

4 その他

会長	その他について、意見はありますか。
委員	この後、事務局から次回会議の日程について、予定が発表されると思いますが、本日も出席できていない方がいらっしゃいます。年明け最初の金曜日とか、決算の翌日であるとか、最初から参加しづらい、できないような日を設定するのは避けていただければと思います。
事務局	27名という非常に多くの方に委員として参加いただいております、できる限り皆さんに出席いただきたいというのは考えておりますが、会場の都合なども考えながら日程を設定していきとなかなか全委員が出席できる日ということが難しい状況です。できる限り皆さんが参加しやすい時期を選ぶよう、最大限加味・配慮してまいりますので、御理解をいただきたいと思

	います。
委員	現在、委員改選が8月と年度途中に行われており、今年度のような計画策定を考えると、年度途中というのはいかかなものかと思います。区の都合もあると思いますが、年度の切り替わりに揃えることはできないでしょうか。
事務局	検討させていただきたいと思います。
会長	他になければ、ここまでとさせていただきます。

5 次回開催予定

会長	では、次回の開催予定を事務局からお願いします。
事務局	(次回の日程について報告)
会長	それでは、これもちまして、令和元年度第1回子ども・子育て会議を閉会いたします。

閉会

以上